



Lesson 5.

反論の仕方



Contents:

Section 1. 反論と否定側立論の区別

Section 2. 反論のフォーマット

Section 3. 前提の過ちを指摘する

Section 4. 反論を考える練習

SECTION 1. 反論と否定側立論の区別

これまでの練習で、議論を1つ含んだスピーチを行えるようになりました。今回から、いよいよディベートらしく、お互いの議論に対して応答していきます。まず始めに、かみ合った議論をするためには、どの様な反論をすることが望ましいのか確認します。

一般に「議論が平行線を辿る」という状態は、反論が上手いかなかった場合に起きます。例えば、次の議論があったとします。

■ 議論の例: : English should be an official language(公用語) of Japan.

[CD. Track # 10]

I strongly believe that English should be an official language of Japan. This is because it would promote Japanese people to learn English more and enables them to communicate with non-Japanese people more easily.

In Japan, the number of people who do not speak Japanese is increasing. Some of them are travelers and some of the others are workers from foreign countries. Because of the language differences, they have some difficulties in communicating with Japanese people, which sometimes causes serious inconveniences in daily life for them.

If English is made an official language, Japanese people will be compelled to learn more English. Consequently, the number of Japanese who can communicate with non-Japanese people would increase.

This plan is important as Japan can be more friendly to non-Japanese people. For this reason, I beg to propose. (134 words)



英語を公用語にするべきだ、という論題に対し、その理由として、英語を使えば日本人は英語をより学ぶようになり、ノン・ジャパニーズの人とよりスムーズに意思の疎通ができるようになるから、と主張されています。この意見にどう反論しましょうか。

日常生活で議論が平行線をたどっている時、それは往々にして反論のつもりで、別の議論をぶつけていること、つまり否定側の立論をしていることが原因です。

例えば、家族とのテレビのチャンネル争いを思い出してみてください。「学校に行って友達と話題についていけないと困るから、友達はみんな見ているドラえもんを見たい」と、あなたが言ったとします。それに対して、お父さん（あるいは他のご家族）は、「自分が応援しないと、また今年もヤクルトは負け続けるので、どうしても野球中継を見たい」という趣旨のことを、よく言うのではないのでしょうか（言いませんか?）。お互いに、友達づきあいにおけるドラえもんの役割と、ヤクルトを応援する必要性を主張しあい、結局は（お母さんが止めなければ）ケンカになってしまうかもしれません。これは、お互いが自分の言い分だけを話し、相手の議論に対して反論を行っていないことが原因です。

英語公用語に関する議論に戻ると、例えば「英語を公用語にすると、行政上の書類を日本語と英語の2種類作成せねばならず、とてもコストがかかるので反対だ」または「英語を公用語にすると、日本語が疎かになるので反対だ」と言い返したとします。これでは、お互いに自分が賛成、反対する理由を述べただけで、議論がかみ合わず最後にはケンカになってしまいます。それでは、どうすれば相手の言い分を聞いた上で、反論することが出来るのでしょうか。反論の例として、例えば以下の様なものがあります。

■ 反論の例: : English should be an official language(公用語) of Japan.

【CD Track #11】

The previous speaker argued that better English abilities allow Japanese to communicate more easily with people who do not speak Japanese. Still, this is not always true because there are a lot of non-Japanese people who do not speak English in Japan. Actually, the majority of them come from Korea, China, or Brazil. They do not speak English. If Japanese people really want to be friendly to people from foreign countries, they should learn Korean, Chinese, or Portuguese more.

(77 words)



ここではまず、反論する議論が何であるのか、1文目で簡単にまとめています。次に、“not always true because ~” という表現で、「~という理由で、必ずしも正しくない」と簡潔にその議論の弱点を指摘しています。最後に、“because~” の内容をより詳しく説明しています。この様に話せば、相手の理由づけに対して、どうして納得できないのか効果的に伝える事ができます。

SECTION 2. 反論のフォーマット

ここまで、相手に反対するとして、反対の根拠を述べ立論する事と、相手の根拠を否定する・弱める事、それぞれ区別する必要があることを確認しました。後者を、反論 (refutation, rebuttal)と言います(反駁という難しい訳語を使う人もいます)。それでは次に、反論をする場合に便利なフォーマットを紹介します。

反論を思いつくには、まず以下の5種類の反論の型を手がかりに考えてみると良いでしょう：

○ 反論の5つのフォーマット

- ① Not true (「正しくありません」)
- ② Not always true (「いつも正しいとは限りません」)
- ③ Not significant / important (「重要ではありません」)
- ④ Not relevant (関係ありません)
- ⑤ That's the opposite (それは逆です)



以下では具体的に、“Japanese government should abolish the death penalty” (日本政府は死刑制度を廃止するべきだ)という論題の肯定側の議論に対して、それぞれのパターンを用いて反論例を示していきます。

① Not true (「正しくありません」)

【CD. Track # 12】

Argument	The death penalty should be abolished in Japan because it is a cruel punishment(残虐な罰則).
Refutation	This argument is not true because the death penalty is not a cruel punishment. Convicts(受刑者) are hanged in Japan. This gives them minimum pain only for a short time.

このパターンは、相手の論証で用いられた、一見正しいとされる命題を否定することで、論証の流れを止めるものです。死刑制度は残虐であるので廃止するべきだ、という意見に対して、それは正しくない、なぜなら日本の死刑執行の手段である絞首刑は、最小限の痛みを短い時間与えるのであるからだ、と反論しています(絞首刑の残虐性に関する医者など専門家の意見や、

他の死刑執行手段、拷問など残虐性が認められる刑罰との比較を証拠として加えればより強い反論になるでしょう)。

② Not always true (「いつも正しいとは限りません」)

【CD. Track # 13】

Argument	The death penalty should be abolished in Japan because it deprives convicts of the chances to rehabilitate and feel truly sorry for the victims. What the victims want is sincere apology from the criminals.
Refutation	This argument is not always true because what most of the victims and their family members want is not apology from the bad guys but severe punishments for them.

死刑制度は死刑囚が罪を悔い改め心から被害者に謝罪する機会を奪う。被害者とその家族が欲しいのは心からの謝罪だ。この議論に対して、いつもそうとは言えない。なぜなら大抵の被害者らが望むのは彼らからの謝罪ではなく、彼らへの厳しい罰だと反論しています。

③ Not significant / important (「重要ではありません」)

【CD Track # 14】

Argument	The death penalty should be abolished in Japan because it causes psychological harm to those who carry out the execution.
Refutation	This argument is not important because those who carry out the execution are simply doing their job. They have nothing to be ashamed of as they are giving justice. Also, if they do not want to do it, they can simply quit the job.

死刑を執行する人の精神的な負担が大きいので、死刑は廃止されるべきだという議論に対して、ここではそれは重要ではないと反論しています。死刑執行は、正義を実現させるために必要な任務であり、何ら恥じるものではない。また、その任に堪えられなければ、職を辞することもできる。そう反論されています。

④ Not relevant (「関係ありません」)

【CD. Track # 15】

Argument	The death penalty should be abolished in Japan because it was abolished in Canada, UK, and most of the other advanced countries.
Refutation	It is not relevant. We do not have to abolish the death penalty simply because it was abolished in other countries. Each country has different needs and priorities. We do not have to simply copy what is done in other countries. Instead, we should think about what is best for our society.

カナダ、イギリスなど他の先進国において廃止されているので、日本でも死刑制度は廃止するべきだという議論が「関係ない」と反論されています。他国は他国、日本は日本で考えるべきだ、とまとめられています。

⑤ That's the opposite (「それは逆です」)

【CD. Track # 16】

Argument	The death penalty should be abolished because life is so precious and no one should take away the life of another.
Refutation	I agree that life is important but the conclusion should be the opposite. Nothing is more important than life. If one person takes the life of another, they can compensate only with their life. Therefore, the death penalty should be supported precisely because of the importance of life.

一番効果的な反論とされるのは、この “flip” と呼ばれる、相手が論証で用いたのと同じ命題・前提を用いて、全く逆の主張をすることです。ここでは、生命は何物よりも大切であるので死刑制度は廃止されるべきだという主張に対して、それだけ大切な生命を奪った者は、自らの命でのみ償うことができる。それ故にこそ死刑制度は存続されるべきだ、と反論しています。

SECTION 3. 前提の過ちを指摘する

前述の反論のパターン通りに反論をすることが出来れば、聞いている人にもとても分かり易いのですが、実際のディベートの試合では、この様に綺麗に纏めることは中々難しいと思います。それで付け加えとして、経験上最も使い易い、相手がその議論の中で暗黙の内に正しいと前提・想像している内容を指摘する反論の仕方をご紹介します。

○ 相手の議論の前提・思い込みを指摘する

Their argument is not true because it is based on a false assumption that ~.
 「彼らの議論は、～という間違った前提に基づいており、正しくありません」



例えば、再び死刑制度廃止に関する以下の議論を考えて下さい：

【CD. Track # 17】

Argument	The death penalty should be abolished because innocent people are sometimes mistakenly given the punishment and hanged. Police investigation heavily relies on confessions from suspects. In some cases, police officers go too far and force suspects to make a false confession. Based on this forced confession, innocent people have been given the death penalty and lost their lives. If the death penalty is abolished, there would be the chance of retrials. At least, we can avoid killing innocent people by mistake.
----------	--

死刑制度があると、無実の人がしばしば誤って殺されてしまうので死刑制度を廃止するべきだ、という議論ですが、前述のパターンに当てはめようとしても、内容が複雑でどれか 1 つに落とし込む事が出来ないのではと思います。この様な場合どうしましょうか。この議論には、幾つかの前提・思いこみ(assumption)があります。その前提を誤った物であると指摘することで、その結論も誤りであると反論します。例えば：

【CD. Track # 18】

Refutation	<p>This argument is based on false assumptions. First assumption is that Japanese police may make mistakes because they put too much emphasis on getting confessions from suspects. This is no longer the case because the advance of scientific investigation, such as DNA testing allows the police to conduct more reliable investigations.</p> <p>Another assumption is that you cannot get retrials if you are given death penalty. Even if you are given the death penalty, it usually takes years before the execution is conducted. So, there are plenty of opportunities to ask for retrials. If the person is truly innocent, it is certain that he or she can be found not guilty through the retrials. Therefore, this argument does not stand.</p>
------------	---

ここでは、2 つの前提が疑われています。まず、捜査段階で強要された自白を証拠に罪に問われ無実の人間に死刑が宣告されるという前提に対して、現在の捜査は DNA 鑑定といった科学的な方法に頼っており、かつての自白主義に基づいた捜査での冤罪は起こらないと言っています。次に、死刑執行されれば再審の機会が無くそのまま冤罪を晴らせない、という前提に対して、執行までには通常何年かの猶予があり、再審請求の機会はある、と指摘しています。この様に、議論の中には前述のパターンでは簡単に対応できない物もあり（そして実際の議論ではその様な物の方が多いのですが）、その様な場合では相手の議論の中に含まれている前提の誤りを指摘する事で反論が出来ます。それでは実際に、反論を考えてみましょう。

SECTION 4. 反論を考える練習

Task1. 反論の表現の確認

- 1) まず、それぞれ適当な反論の冒頭部分を選んで下さい。
2) その後、練習のために家で理由の部分「なぜなら～」を日本語で書いて下さい。次回の授業で友だちと読み比べてもらいます。* どれか1つだけが答え、というわけではありません。「なぜなら～」の部分を作りやすいものを選んで下さい。

- 1) 英語の小テストの追試(Try Again)が大変なので、学期中は、家のお手伝いをすることはできない。

それは： a. not true b. not always true c. not important
 d. not relevant e. solved easily f. the opposite

なぜなら、

- 2) 筆記試験をすることは、生徒に多大なストレスを与えるので、やめよう。(東京大学[改])

それは： a. not true b. not always true c. not important
 d. not relevant e. solved easily f. the opposite

なぜなら、

- 3) 夏休みの宿題を出すことは、生徒が自分で勉強の計画をたてる能力を育てないので、やめよう。

それは： a. not true b. not always true c. not important
 d. not relevant e. solved easily f. the opposite

なぜなら、

- 4) 子どもはペットの世話をきちんとできないので、子どもがペットを持つことを法律で禁止しよう。(東京大学)

それは： a. not true b. not always true c. not important
 d. not relevant e. solved easily f. the opposite

なぜなら、

- 5) 動物園は、動物を檻に入れて見世物にするなど、動物虐待であり、動物園は廃止しよう。(慶応大学)

それは： a. not true b. not always true c. not important
 d. not relevant e. solved easily f. the opposite

なぜなら、

o

- 6) 火星への有人探査などの宇宙計画は、膨大なお金がかかるのでやめよう。(筑波大学)

それは： a. not true b. not always true c. not important
 d. not relevant e. solved easily f. the opposite

なぜなら、

Task 4. 議論作りと反論

それでは次に、Lesson 4 で作り方を学んだ、5つの要素で構成された議論に対して反論してみましよう。以下の論題から1つ選び、議論を1つ含んだスピーチを用意して下さい。ペアを組んでお互いの用意したスピーチを確認した後に、実際に発表してみてください。スピーチが終わる度に、その議論に対してどんな反論があり得るか参加者全員で考えてみて下さい。

【Theme A】 Funny Speech

- (1) Chief inspector Zenigata (銭形警部) should not arrest Lupin the third (ルパン3世).
- (2) Black Jack should not ask too much money for his operations.
- (3) Ran (毛利蘭) should forget about Shinichi(工藤新一).
- (4) Ms. Megumi Noda (のだめ) should learn cooking before studying music.
- (5) Shizuka(しずか) should not get married to Nobita but to Dekisugi (出来杉).
- (6) Nobita (のび太) should not get married to Shizuka but to Jaiko(ジャイ子)
- (7) Igo (囲碁) should be played in the Winter Olympic Games.
- (8) Soccer should be played with two balls.
- (9) Having a boyfriend or girlfriend is a waste of time.
- (9) The United Nations should develop Evangelion (人型決戦兵器エヴァンゲリオン).

【Theme B】 Children & Education

- (1) Parents should not physically punish children even for educational purposes.
- (2) Children who have finished compulsory education should be given the right to vote.
- (3) Playing with friends is more important than studying for elementary school students.
- (4) Advertisements that target children should be banned.
- (5) Child labor is a necessary evil for developing countries.
- (6) International adoption should be banned.
- (7) Child actors or actresses should be prohibited from working on weekdays.
- (8) Having a younger brother or sister is better than having an older one.
- (9) High school students should not have a cell phone.

(上の論題が難しい場合は、巻末の論題集から選んで下さい)